

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ①

シビックプライド 津島愛

津島市教育委員会の教育目標に「津島愛・シビックプライド」を育てることをあげています。郷土愛、郷土津島を大切にしていこうという思いを育てたいと思っています。今から6年前の小学6年生の子どもたち（現18歳）に『子ども版 津島カルタ』の読み札を創っていただきました。

《尾張津島天王祭》

あ	朝となり	車楽舟に	飾り替え	車楽舟
ち	提灯に	一年の夢	巻藁舟	巻藁舟
ぬ	布鉢を	持って飛び込む	市江舟	市江舟

《尾張津島秋祭り》

い	石採祭車	天幕は	豪華絢爛なり	石採祭車
き	清正は	鬼のお面で	泥棒退治	鬼祭り
く	くつわ踊り	信長始めた	風流踊り	くつわ踊り
た	山車祭り	道路に残る	車切あと	山車・車切

《人物》

と	東大寺	奈良を描いた	杉本健吉	杉本健吉
は	春吉が	尾張に広めた	毛織物	片岡春吉
や	焼き物を	作り続けた	大橋秋二	大橋秋二
わ	和の心	英語で伝えた	ヨネ・野口	野口米次郎

津島の街を歩くと街のはずれに十王堂があります。十王とは、仏教や道教において、亡くなった人の裁判を行う十尊のことです。閻魔大王を中心にして、亡くなった人が次の六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）のどこに生まれるかを決めます。十王の力で街中に疫病などが入らないようにしました。津島には今市場、橋詰、下構、北口、街の東西南北に十王堂がありました。現在完全な形で残っているのは、今市場（東）の十王堂で津島駅のすぐそば、錦通りの南側にあります。また向島村の十王堂は津島神社の東側、祢宜町に残っています。街並散策をしながら、お堂をさがして下さい。

市内の街中を歩いていると「薬師堂」と「地藏堂」を幾つか見つけることができます。薬師如来は病気やケガを治してくださる仏様、地藏菩薩は私たちの悩みを受け止め救って下さり、子どもたちの成長を見守る仏様です。天王川公園西堤（瑠璃光寺）の薬師堂、西御堂町の薬師堂、皆戸町の六地藏尊、上河原町の花蔵堂、天王通りの千体地藏、などが街中にあります。

令和6年6月3日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視